

科目名	地域産業と技術 Industry and Technology in Niigata	科目コード	A0020
-----	---	-------	-------

学科名・学年	全専攻・1年（プログラム3年）
担当教員	榊澤 辰也（電気電子システム工学科）
区分・単位数	必修・2単位
開講時期・時間数	後期，30時間【内訳：講義22，その他8】
教科書	各講師からの配布資料、プリント
補助教材	プリント、ビデオ、ウェブページ、プレゼンテーション
参考書	

【A. 科目の概要と関連性】

この科目は学生の地域理解と本校の地域との連携とを目的として平成18年度から導入された科目で必修である。学生が長岡地域について様々な角度から理解することはもとより、本校と地域企業との交流、及び、連携、協力やネットワーク作りも視野に入れている。

まず、地域の企業の方から企業の仕事と技術開発などの実際を講演してもらって、学生の技術への理解を深める。次いで、専門家から地域の企業の歴史を講義していただき、また、実際に起業し経営を担当する方から、地域企業の起業と経営について講義していただき、学生の起業と経営への理解を深める。最後に、実際の現場見学を行い、学生の地域産業と技術への理解を深める。

○ 関連する科目：法学、社会学、歴史学Ⅰ（以上前々年度）

○ 歴史学Ⅱ、哲学、経済学（以上前年度）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(F)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
① 地域の産業について理解すること。	50%	(F2)
② 地域の企業の技術者から産業技術と企業内容について知ること。	50%	(F2)

【C. 履修上の注意】

地域の産業や社会、及び諸問題について、参考文献や新聞を読み、ネットで調べておく等、積極的に授業に参加すること。また、地域独自の技術や企業に注目して、講演や現場見学に出席してもらいたい。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験【0%】
- その他の試験【0%】
- レポート・小論文【80%】 レポートの宛先：tkaba@st.nagaoka-ct.ac.jp
- その他（授業・講演内容についてのコメント等）【20%】

【E. 授業計画・内容】

● 後期

回	内容	備考
1	はじめに、ガイダンス	
2	地域の産業と企業 (1)	
3	地域の産業と企業 (2)	
4	地域の産業と企業 (3)	
5	地域の産業と企業 (4)	
6	地域の産業と企業 (5)	
7	地域の産業と企業 (6)	
8	地域の産業と企業 (7)	
9	地域の産業と企業 (8)	
10	地域の産業と企業 (9)	
11	起業と経営 (1)	
12	起業と経営 (2)	
13	企業の現場見学 (1)	
14	企業の現場見学 (2)	
15	まとめ	